




2021-22 三春ロータリークラブ テーマ
わくわく・ドキドキの三春ロータリー

Rotary 

Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告・その他連絡事項
7. ガバナー公式訪問のスケジュール確認
8. 閉会点鐘

早朝の三春町内 (2021年8月20日)

令和3年9月2日 (木) 12:30～ 場所：割烹 八文字屋

ガバナー公式訪問 準備例会

会長挨拶 山口 晋司

皆さまこんにちは。先日、三春RCの理事会が開催され、前回の例会で幹事報告のあった猪苗代湖の漂着水草清掃活動に参加がきました。

昨年からのコロナ禍から、目に見える奉仕活動はほとんど出来ていなく、久しぶりで個人的にも楽しみです。

様々な団体がこの清掃活動に参加してますので、少しでも交流が深める事ができたら幸いです。

猪苗代湖といえば、2年前に沖縄に住んでいるうちの叔父や息子夫婦が約30年ぶりに三春町を訪れました。息子は3歳・・くらいまで三春にいましたがほとんど思い出などはなく、奥さんも九州から北には行った事がなく、福島県のあまりの山の多さにはビックリしてました。沖縄は山が少なくトンネルもありません。猪苗代湖志田浜にも連れてきましたが、大きな湖を見るのが初めてで「波が無い海だ！」と感動してました。叔父夫婦は那覇市内でレストランを営んで、メニューにあるライス関係で使われている米は福島県産です。

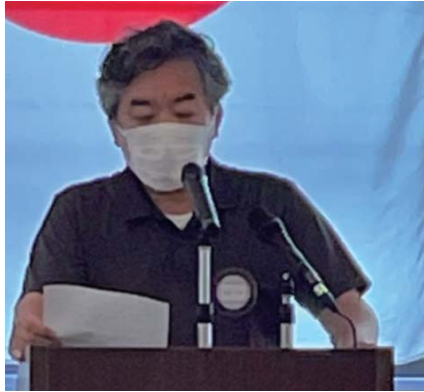
別に特別な事ではなく、沖縄県で流通している米は福島県産が多いらしいです。「米？？普通に福島県産食ってるよ！」みたいな感じです。たまに三春町産のピーマン等も送ってますが、三春産のピーマンは肉厚があり、渋味も少なく沖縄の人にも好評みたいです。



幹事報告 宗像 俊樹

1. 県中分区 会長幹事会
日時:9月3日(金)19:00～ 場所:開宝 花の湯(田村市)
2. ガバナー公式訪問 日時:9月9日(木)
3. 職業奉仕委員会セミナー
日時:9月11日(土) 10:00～12:00 (Zoomオンライン)
4. 地区大会記念チャリティーゴルフ大会
日時:10月3日(日) 場所:小名浜カントリー倶楽部
5. 猪苗代湖水草回収活動 日時:10月の(土)or(日)予定
場所:猪苗代湖 天神浜



 各委員会報告 クラブIT推進担当 三瓶 一壽さん

去る、8月28日 13:00から地区公共イメージ・IT委員会の主催するセミナーにWebにて参加しましたので報告いたします。

いつものように志賀ガバナーの開会点鐘に始まり、各役員挨拶の後に、基調講演がありました。

演題『WITHコロナの奉仕プロジェクト』・by RID2660公共イメージ向上委員会副委員長「新倉雄二」氏でした。コロナ禍においても色々とアイデアをこらすことで、様々な活動を実践している事例紹介や、公共イメージに対するロータリアンと一般市民に乖離がある。ここを埋めるには我々はまだまだ創意工夫が必要であることなどのお話を頂きました。

●セミナー 添付ファイル参照

第1セッションとして公共イメージ委員会からの報告4件

第2セッションとしてIT委員会よりの報告4件 それぞれにお話しいただきました。

●講評

・公共イメージ・IT委員会担当相談役


PG.: 佐久間英一 氏(当初より広報活動の重要性を唱える)

・公共イメージ・IT委員会担当相談役

PG: 平井義男 氏(前年度まで地区IT委員会委員長)

・・・閉会点鐘で終了しました。大変密度の濃く広範な内容のセミナーでした。

特にコロナ禍の只中で我々ロータリアンの活動に対するサゼッションをたくさん頂きましたが特に重要なことは「正しく広報を行うことと、積極的に行動を起こすこと。」、また、RIのマイロータリーに常にアクセスし世界中の正しい情報を確認すること。それから今、Web会議が各クラブでも積極的に開催されているようですが、その手段や環境の整備も重要であること。。のお話を頂きました。

 青少年奉仕委員会セミナー参加報告 大塚 康範さん(石川和広さん 代読)

標記セミナーが8月28日(土)の10:00から11:30にかけてオンラインで開催されましたので、その参加報告をします。

1. 三春RCからの参加者

県中分区分三春RCを代表して、橋本紀子ガバナー補佐と増子博保さんが参加されました。

2. 講演

志賀ガバナー(いわき小名浜RC)の開会点鐘と芳賀地区研修リーダー(福島中央RC)の挨拶の後に青少年奉仕委員会委員長の大木和彦さん(須賀川RC)の司会により、「ROTEX(青少年交換派遣学生)から衛星クラブ認証までの軌跡」と題した講演の紹介がありました。その内容を掻い摘んで書いておきます。講演者は東京あけぼのRCの近藤修一様です。1984年東京生まれですが、幼少期に祖父や母親の影響により猪苗代スキー場で過ごしたそうです。そのため、その後の人生においても福島県との縁は大変深いものがあるとの話でした。



2001年の17歳になったときに2580地区の東京池袋西RCがスポンサーとなって青少年交換プログラム派遣学生としてハンガリーに留学させてもらったとのことでした。帰国後はプログラムOBのボランティア組織であるROTEXとして活動し、2004年には大阪で開催された国際大会に参加しました。そして、大学院在学中の2009年には2750地区の東京芝RCがスポンサーとなってRYLAセミナーに参加されたそうです。同年に米国のロサンジェルスで開催された国際RYLAにも参加されました。そして、2013年には新しい衛星クラブ形式でRCを立ち上げるために奔走され、2014年に2750地区99番目のRCとして東京あけぼのRCを設立されました。2013-2014年には初代会長として新しいRCを軌道に乗せるために尽力されました。大学院を終了後に外資系の海運会社に就職し、専門商社の職員として活躍された後に現在は(株)ワイオーエアフリカなる会社を立ち上げて、その社長さんをされています。ここではガーナを中心とした西アフリカ諸国向けの輸出入、コンサルティングをされています。東京あけぼのRCを立ち上げて間もない2015年にはガーナの首都アクラで生涯を閉じた野口英世を顕彰するために当地にあるアクラサウスRCに依頼されて野口博士の生誕の地にある猪苗代RCとの仲介役をされたという話が特に印象的でした。東京あけぼのRCは、2014年に加盟認証を2750地区東京築地RCのスポンサーシップにより得ました。現在、会員数は20名ほどで平均年齢が44歳と若く、20名のうち7名が女性ということで女性比率の高いRCです。事務局も事務局員も置かずには食事も出さずに飲物だけで、年会費144,000円という破格の費用で運営しているとのことでした。毎週月曜日夜19:30に例会を完全オンラインで行なっているようで、様々なバックグラウンドを持つ次世代の子どもたちを対象とした活動をしています。「モノをあげる」奉仕よりも「身体を常に動かすことにより自ら参加する」ことを念頭において活動しているそうです。活動に際しては子供たちとグローバルな視点で話会うことにしている点に大変、興味を惹かれました。

3. 青少年奉仕委員会セミナー

近藤さんの講演後に今年2530地区で予定されている青少年奉仕委員会セミナーについての話がありました。話のあった順番に内容を列挙致します。

近藤さんのロータリー活動の原点について、「ロータリーは、恩返しを求めてはいません。」という若いころに聞いた言葉に、ロータリーで育ててもらって、その人のつながりで社会にしらずしらずのうちに貢献していることに最近気づかされたと話されていました。その説明に「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」というシェカール・メータ現会長が感銘を受けたとされる「超我の奉仕」というロータリーの標語を引用されておられたのがとても印象的でした。

3.1 インターアクトの事業予定について

インターアクトクラブ (IAC) は、ロータリークラブにより提唱された12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。地域におけるポジティブな奉仕活動の精神と海外のIACとの交流を通じて国際理解と親善を推進することを目的に作られた組織であります。現在2530地区には21のIACと19の提唱クラブがありますが近々、22のIACになる予定だそうです。ロータリークラブにおける奉仕活動としては、①クラブ奉仕、②職業奉仕、③社会奉仕、④国際奉仕、⑤青少年奉仕活動がありますが、IACはそのうちの⑤青少年奉仕に含まれるもので、現状、次のような5つの大きな事業を予定しており、その中でIACの活動をさらに掘り下げていく予定です。

1) 第28回年次大会

令和3年10月4日の12:00より、郡山市労働福祉会館においてオンラインではなく、会員が直接、会って話せる場を設ける予定である。大会テーマは「未来を切り開こう！ 今、私たちのできること」で、ワークショップ等で交流と親睦を深め、お互いの活動の質を高めたいと思っています。

2) 連絡協議会

令和3年10月中旬と令和4年3月から4月に開催を予定している。IAC顧問と各提唱クラブの担当者が一堂に会して活動に対して協議するものです。



3) 地区大会への参加

令和3年11月6日から7日にかけて実施する予定です。地区大会と同時に開催される青少年会議では、ローターアクト、青少年交換留学生、米山奨学生とのワークショップや研修で交流を深めます。

4) 地区外研修・国際理解研修会

地区外研修は県外のIACとの交流研修、国際理解研修会は国際理解を深めるための海外研修ですが2008年の韓国での研修が最後になっています。地区外研修として令和元年には11/16~17にかけて東日本大震災の被災状況を見る会を実施しました。今年度はそれにふさわしい研修会を計画したいと思っています。

5) リーダー研修会

主に地元の高校生を対象に「求められるリーダーシップとはなにか」を考える場を作りたいと思っています。リーダーの資質についてご講演をいただいたうえで、第2部で議論するような研修会です。

3.2 ローターアクト地区代表紹介と3.3 ローターアクト事業予定について

ローターアクトは奉仕の精神と国際理解を次世代の青少年に付与するために設立された組織で、指導・助言・監督の責任を持っています。18歳から30歳の若人のためのプログラムでもあります。このローターアクト地区代表としてローターアクト委員会委員長佐藤和子さん(福島中央RC)が紹介され、堀下慎哉さん(郡山西RAC)より来年3月を目標にしてIACとも協力して、ローターアクト主催の青少年奉仕活動プログラムを計画したい旨の話がありました。

3.4 RYLA事業予定について

RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)研修会が、14~30歳までを対象として2530地区ロータリークラブによって今年度開催する予定です。この事業は、シェカール・メータ現会長の「Serve to change lives: 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」という考え方に合致するものであり、是非とも成功させたい事業です。芳賀ガバナー(2019-20)と石黒ガバナー(2020-21)の2年間コロナ禍の影響で中止されていましたが、今年度は場所を磐梯熱海のホテル華の湯さんにして令和4年2/26~2/27の2日間にわたって開催することになっています。ITを活用したZoomの採用も視野に入れて是非とも実施する予定です。前々回の平井義郎ガバナー主催の第39回RYLAセミナーの内容が紹介されましたが、内容については、これから決めることになります。ゲストは決まっているようで「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」で有名な地元郡山市出身の俳優鈴木文健さんと運動入門などスポーツナビゲーターとして有名な大内克泰さんだそうです。様々なトピックスのプレゼンテーション、アクティビティ、ワークショップなどを含めてイベントをこれから計画することになっています。参加対象はそれぞれのイベントによって異なりますが、リーダーシップの力を引き出すことを目的とした高校生対象のイベントから、創造性のある問題解決力を養う大学生対象のイベント、ビジネス倫理について学ぶ若い社会人対象のイベントなどがあります。参加方法ですが、2530地区の各ロータリークラブからの研修生の推薦やロータリアンの家族から推薦してもらうことでRYLAの参加者を決めます。一人10,000円を各ロータリークラブから徴収する予定にしているの80名を最大定員として進めたい意向をお持ちです。このため、各ロータリークラブから最低限一人は若者を推薦して参加させてほしいとのことでした。

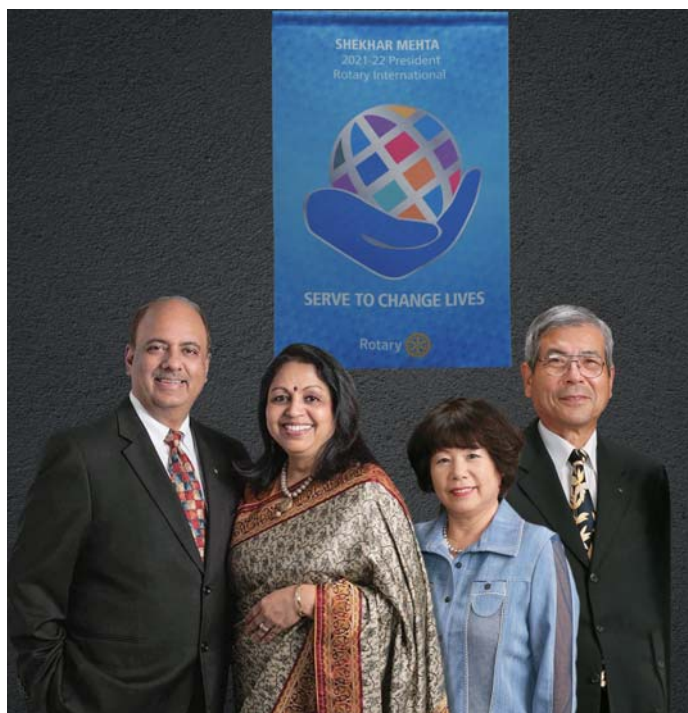
3.5 青少年交換事業の現状と今後について

原田康博青少年交換委員会委員長(いわき平東RC)より、本事業の下で15-18歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら海外の友人を作ることは大変によいことではあるが、ここ数年にわたって青少年交換事業は行われてなくて一昨年3名他、今年も5名ほどが待機状態になっているようです。できるだけ早急に解除して青少年交換事業を復活するようにしたいとのことでした。

3.6 その他

セミナーを締めくくる形で芳賀地区研修リーダーより、令和3年3月には石黒ガバナーのご尽力により、福島東陵高校と台湾新竹市の光復高校間でオンライン意見交換会を開催し、お互いの国や町についてすべて英語で話し合いをした話がありました。コロナの影響でIACも様々な予定が中止になる中、折角の機会なので今後、日本と台湾の交流事業にしてほしいとのことでした。また、コロナ禍でのイベント開催について2530地区高校生のクラスター感染を防ぐようにしてほしいとの意見がありました。また、ロータリークラブ・セントラルから最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことで各RCとして取り組む課題を明確にしながら2530地区の全クラブがロータリー賞を取得できるように是非とも挑戦してほしいということでした。また、青少年奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山記念奨学会委員会及びロータリー・リーダーシップ研修会(RLI)の4部門の事務を円滑に行うために郡山市に地区事務所を置くことにしたいとの話がありました。そして、最後に志賀ガバナーによる閉会点鐘にてセミナーは無事に終了しました。

ガバナー公式訪問準備



9月9日(木)の公式訪問に向け、タイムスケジュールの確認等をおこないました。



2530地区 2021-22年度ガバナー

志賀 利彦 (しが としひこ)

- 生年月日 1947(昭和22)年7月10日
- 所属クラブ いわき小名浜ロータリークラブ
- 職業分類 電気工事業
- 事業所名 泉電設株式会社
- 役職 代表取締役社長

■ ロータリー歴

- 1999年8月5日 いわき小名浜ロータリークラブ入会
- 2011-14年第51代クラブ幹事
- 2012-14年地区国際交流委員会 委員(2期)
- 2014-16年地区米山記念奨学会委員会 副委員長(2期)
- 2017-18年地区戦略委員会 委員
- 2018-19年第58代クラブ会長
- 2019-20年地区戦略計画委員会 委員
- 2019-20年地区青少年交換委員会 委員
- 2019-20年ガバナーノミネー
- 2020-21年ガバナーエレクト

友好クラブ・交流クラブの活動紹介

尾張旭ロータリークラブ(愛知県) 8月6日(金)



先日のからくり時計お披露目式の写真が出来上がりました。

本日は8月第一例会でした。愛知県は蔓延防止が発表され、またしばらく活動が自粛されますが、出来ることからコツコツと明るく前向きに参りましょう！

